

## 令和8年雫石町議会6月定例会 一般質問通告一覧表

【No. 1】

| 質問順 | 通告議員名    | 質問事項                         | 質問の要旨   | 質問の相手 |
|-----|----------|------------------------------|---|-------|
| 1   | 西田 征洋 議員 | I 訪問介護事業について                 | <p>令和6年4月の訪問介護の基本報酬の2～3%の引き下げが国によってなされたことから全国の訪問介護事業は収入が減って経営難に陥り、事業所の倒産と廃業が劇的に増えるなど事業の経営が悪化の一途を辿って、今では全国の市町村の2割強の自治体で訪問介護事業所が1カ所もないか残り1カ所しかない状態でまさに危機に直面している状況だと思われる。そこで、次の点について伺う。</p> <p>1 町での訪問介護を受ける人数と訪問介護に携わる事業所数はいくらあるか。</p> <p>2 この全国的な訪問介護事業の状況を打開するため、町がこの事業の支援をすることを考えているか。</p> | 【町長】  |
|     |          | II 県の物価高騰対策賃上げ支援について         | <p>近ごろ物価高騰がいろんな要素も加わって高水準で続くなか、ある程度の賃上げをした県内の事業所等に対して県が支援金を支給する取り組みを行い大変喜ばれていると聞いているが、町の事業所等の利用状況はどうか。</p>  | 【町長】  |
|     |          | III 盛岡広域環境組合議会定例会での議案の否決について | <p>2月12日に開催された盛岡広域環境組合議会定例会で令和8年度予算が賛成少数で否決されたが、否決された理由は何か。</p>   | 【町長】  |
|     |          | IV 御明神下川原行政区の町道改良について        | <p>御明神下川原行政区の町道改良について地元からの改善の要望はないか。</p>  | 【町長】  |
|     |          | V 加齢性難聴の人たちへの補聴器購入への支援について   | <p>加齢性難聴の人たちへの補聴器購入の支援は今でも町は考えていないか。</p>  | 【町長】  |
|     |          | VI クマ問題について                  | <p>1 今年に入り早くもクマをめぐる話が出ている。中には痛ましい話も聞こえてくる中で、クマ発見の通報時間と注意喚起の放送時間に間が空きすぎているかという声がある。「発見したらなるべく早く注意喚起の放送をすべきではないか、あまり時間が空きすぎるとクマがどこかに移動したりして注意喚起の意味が薄れるのでは」という声も聞くが、工夫が必要ではないか。</p> <p>2 クマの所在の把握には通り道の下草刈りが効果的と言われているが、どのように対応するのか。</p>   | 【町長】  |

## 令和8年雫石町議会6月定例会 一般質問通告一覧表

【No. 2】

| 質問順 | 通告議員名    | 質問事項       | 質問の要旨   | 質問の相手 |
|-----|----------|------------|---|-------|
| 2   | 金子 一男 議員 | I 観光振興について | <p>令和8年3月定例会において、一般社団法人しずくいし観光協会が主体となる観光地域づくり法人（DMO）と地元事業者（宿泊業、飲食店、農家など）の間に、考え方の相違や対話不足を一般質問の中で指摘した。本登録から2年近くが経過しようとしている今、現場の事業者が求める「営業に直結する持続的な経済効果」を創出するため、次の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 DMOの登録による地元の宿泊業者や飲食店、農家などに売上への具体的な影響について把握し、今後の事業に活かすことが必要だと思うがどうか。</li> <li>2 マーケティングとして、客観的なデータを分析し、ターゲットを明確にして効果的なプロモーションやブランディングを実施していると思うが新たな取り組みはあるか。</li> <li>3 集客の状況やインバウンドの対応などだけではなくDMOの活動に対する事業者アンケートなどの満足度調査を行い、今後の事業に活かすことが必要だと思うがどうか。</li> <li>4 情報共有の場に町は、オブザーバーとして、理事会に参加していると思うが、DMOは専門部会の他にも事業者と共に改善策や情報共有する機会が必要だと思うがどうか。</li> <li>5 DMOに登録されると、国や県から「情報（データ分析）」「人材（専門家派遣）」「財政（補助金や交付金）」の強力なサポートを受けられると思うが新たな取り組みはあるか。</li> </ol> | 【町長】  |

## 令和8年雫石町議会6月定例会 一般質問通告一覧表

【No. 3】

| 質問順 | 通告議員名   | 質問事項                         | 質問の要旨   | 質問の相手                    |
|-----|---------|------------------------------|---|--------------------------|
| 3   | 畠山 操 議員 | <p>I インクルーシブ教育について</p>       | <p>障がいのある子どもも、ない子どもも、地域の中で共に学ぶ環境を整えることは、教育行政の重要な役割と思われる。県の「障がいのある人もない人も共に学び共に生きる岩手県づくり条例」においても、共生社会の実現と合理的配慮の提供が求められている。当町においても、障がいのある児童生徒が地域の学校で安心して学べる環境づくりが必要であると考えられる。そこで、次の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 町内小中学校における現在のバリアフリー整備の現状として、多目的トイレ、段差解消、スロープ等についてどのような状況であるか。</li> <li>2 障がいのある児童生徒に対し、教室配置、移動支援、介助支援など、どのような合理的配慮を行っているか。</li> <li>3 今後、雫石中学校に障がいのある生徒が入学を希望した場合、学校生活に支障が生じない環境整備が必要になると考えるが、その対応は。</li> </ol> | 【教育長】                    |
|     |         | <p>II 支援学校や支援学級の通学などについて</p> | <p>障がいのある子どもを育てる家庭にとって、毎日の通学や放課後の過ごし方は大きな課題である。そこで、次の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 現在、町外の支援学校に通学する場合、本人、保護者にとって大きな負担を生じさせていると思われるが、長距離通学の実態をどのように把握しているか。</li> <li>2 放課後等デイサービス利用時における移動負担、送迎負担について実態調査は行っているか。</li> <li>3 町内における放課後等デイサービスの受け皿は利用希望者に対して十分と認識しているのか。</li> <li>4 町内普通学校の特別支援学級の児童は、学童や児童館で過ごすのは難しく、放課後、長期休暇時の居場所をどう考えているか。</li> <li>5 通学支援だけではなく、町内の空き校舎でサテライト教室や分教室を開設してはどうか。</li> </ol>                     | <p>【町長】</p> <p>【教育長】</p> |

## 令和8年雫石町議会6月定例会 一般質問通告一覧表

【No. 4】

| 質問順 | 通告議員名    | 質問事項                          | 質問の要旨  | 質問の相手 |
|-----|----------|-------------------------------|--|-------|
| 4   | 岡本 忠美 議員 | <p>I コンプライアンス体制について</p>       | <p>自治体並びに民間企業を取り巻く法規制や社会の期待は日々変化し、国民の価値観も多様化している。コンプライアンスとは、法令を含む社会規範を守るという意味で、かつては法律を守っていればよいと捉えられることもあったが、今日では法令を守るだけでは足りず社会規範や倫理に応えることが求められている。しかし、他の自治体では個人情報流出や不適正事案は後を絶たず、コンプライアンス違反により多くの不祥事案が報道されている。そこで、次の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 町のコンプライアンスに対する体制はどうなっているか。</li> <li>2 過去3年間で町民からの苦情等により、謝罪や文書を送付するなどした件数は。</li> <li>3 過去3年間の不適正・不祥事案と判断された件数は。</li> <li>4 役場内のハラスメント対応についてどのように取り組んでいるか。</li> <li>5 職員の研修は行われているか。</li> </ol> | 【町長】  |
|     |          | <p>II 小学校統合に伴う旧校舎の利活用について</p> | <p>町内小学校が統合してから数年経過しているが、旧校舎の利活用について利活用計画に基づき早急に進めるべきと考える。そこで、次の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 旧校舎（橋場・大村・西根・上長山）の現在の利用状況は。</li> <li>2 各旧校舎の維持管理費は年間いくらか。</li> <li>3 現在旧校舎を利用している組織や企業からの要望等はないか。</li> <li>4 旧校舎を取り壊す考えはあるか。</li> <li>5 旧校舎を利活用すれば地域の活性化に繋がると思うが、各地区の住民から意見を聞いているか。</li> </ol>   | 【町長】  |

令和8年雫石町議会6月定例会 一般質問通告一覧表

【No. 5】

| 質問順 | 通告議員名    | 質問事項                 | 質問の要旨  | 質問の相手 |
|-----|----------|----------------------|--|-------|
| 5   | 堂前 義信 議員 | I クマの被害防止対策の取り組みについて | <p>県内では、本年4月からクマによる人身被害が急増し死亡事故が数件発生している。また、目撃情報は地方のみならず都市部でも増加傾向である。明らかに今までとは違った生態及び生息状況にあり、今後被害が昨年以上に拡大するのではないかと憂慮される状況である。そこで、次の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>クマの出没情報、農業等被害、人的被害等の推移はどうか。</li> <li>農業被害に対する対策支援はどうなっているか。</li> <li>市街地に出没し危険な行動をとるクマが今後増えてくると思われるが、住民の被害を未然に防ぐため、対策強化をどう図っていくのか。</li> </ol>   | 【町長】  |
|     |          | II ゴミ減量化の取り組みについて    | <p>ゴミの減量化及び資源の有効活用を図り、温室効果ガス削減等循環型社会の形成に寄与する目的で、昨年9月に「第11期雫石町分別収集計画」が策定された。そこで、次の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ごみの発生状況はどうか。</li> <li>3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取り組み状況と成果はどうか。</li> <li>生ゴミ減量の取り組み状況はどうか。</li> <li>集団資源回収の取り組み状況はどうか。</li> <li>町民一人当たり一日のゴミ排出量が全国及び岩手県と比較しても多い状況が長年続いている。その原因は何か。また、対策はどうするのか。</li> </ol>  | 【町長】  |
|     |          | III 空き家対策の取り組みについて   | <p>令和5年住宅・土地統計調査によると全国の空き家数は900万2千戸、空き家率は13.84%であった。平成30年から51万3千戸増加し、人口減少とともに増加の一途を辿っている。当町の空き家も増加しており、景観悪化、倒壊等の危険、犯罪リスクの増加等地域住民の生活や安全に影響を与えかねない状況となっている。そこで、次の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>空き家の状況はどうか。</li> <li>空き家対策と効果はどのようになっているか。</li> <li>空き店舗の状況と創業・起業支援による活用状況はどうか。</li> <li>移住や二地域居住等による空き家活用の状況はどうか。</li> <li>移住や起業・創業による空き家活用の促進を図るため、「ふるさと住民登録制度」を活用し、関係人口増加の取り組みを進めてはどうか。</li> </ol> | 【町長】  |

令和8年雫石町議会6月定例会 一般質問通告一覧表

【No. 6】

| 質問順 | 通告議員名     | 質問事項                           | 質問の要旨   | 質問の相手 |
|-----|-----------|--------------------------------|---|-------|
| 6   | 小笠原百合子 議員 | I 人口減少対策における若年女性に選ばれるまちづくりについて | <p>町ではこれまで、医療費助成や出産祝金、教育環境の充実など、子育て支援に力を入れてきた。子どもを安心して産み育てられる環境づくりは、町の未来を支える大切な取り組みであり、これまでの取り組みに敬意を表する。しかしその一方で、全国的に進学や就職をきっかけに若年女性が都市部へ流出する傾向が続いており、当町においても、若年女性の人口減少は大きな課題の一つになっていると感じている。特に20代から30代の女性人口の減少は、結婚や出産、子育て世代の減少にもつながり、結果として子どもの数の減少にも影響していると考ええる。これまで少子化対策というと「子育て支援の充実」が中心であったと思うが、これからはそれに加えて「若年女性がこの町で暮らしたい」「ここで働きたい」「将来も住み続けたい」と思えるまちづくりという視点も必要ではないかと考える。そこで、次の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 若年女性の流出について、どのような分析を行っているのか。特に、進学・就職・結婚・出産期における女性流出の要因をどう捉えているか。</li> <li>2 現在の少子化対策は、主に「子育て支援」が中心となっているが、今後は「若年女性が暮らし続けたいと思える環境づくり」へと視野を広げる必要があると考えるが、どうか。</li> <li>3 若年女性に選ばれる自治体となるためには、「女性の働きやすさ」「多様な働き方」「地域での生きづらさの解消」「意思決定の場への女性参画」など、ジェンダーギャップの視点が重要と考える。今後どのようにジェンダーギャップ解消に取り組んでいくのか。</li> <li>4 若年女性の声を町政に反映していくためには、気軽に意見を話せる場づくりや、女性の視点をまちづくりに生かしていくことが大切と考える。若年女性の声を聞き、まちづくりに取り入れる取り組みを進めてはどうか。</li> <li>5 進学や就職で町を離れた若い世代に、「将来は雫石に戻りたい」と思ってもらえる環境づくりが必要と考える。Uターンしてきた若者との交流や、地元企業の情報発信などを強化し、若年女性のUターン・Iターン促進に取り組んではどうか。</li> </ol> | 【町長】  |

## 令和8年雫石町議会6月定例会 一般質問通告一覧表

【No. 7】

| 質問順 | 通告議員名    | 質問事項                          | 質問の要旨  | 質問の相手 |
|-----|----------|-------------------------------|--|-------|
| 7   | 杉澤 敏明 議員 | I 第四次雫石町観光・交流活性化行動計画について      | <p>町は、この度、1年間中断していた第四次雫石町観光・交流活性化行動計画を策定した。計画期間は、第三次雫石町総合計画後期基本計画の計画期間である令和6年度から9年度までに合わせ、令和8年度から9年度までの2年間としている。この計画内容について、次の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 近年は、アウトドア観光事業に多額の予算を投入してきているが、この計画では具体的な事業をどう推進するか。</li> <li>2 「鶯宿温泉スポーツエリアを核としたスポーツ・文化合宿や各種コンベンション等の誘致をする」とあるが、具体的な事業をどう推進するのか。</li> </ol> | 【町長】  |
|     |          | II 道の駅雫石あねっこのモンベルコーナーの売上げについて | <p>令和7年度に道の駅雫石あねっこ物産館の改修工事を行い、モンベルコーナーを設置し、去る3月27日から営業を始めているが、2カ月間の売上額はいくらになっているのか。<br/>また、今年度1年間の売上見込額はいくら程になるのか。</p>   | 【町長】  |
|     |          | III 経常収支比率が高い理由について           | <p>令和6年度決算における当町の経常収支比率は、99.6%と県の平均値を大きく上回っていることから、財政の硬直化が一層進行していると考えます。そこで、次の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 経常収支比率が高くなっている主な理由は何か。</li> <li>2 物件費、維持補修費及び補助費等の主な内訳は何か。また、その中で他市町村では支出していない経費はあるか。</li> </ol>   | 【町長】  |

## 令和8年雫石町議会6月定例会 一般質問通告一覧表

【No. 8】

| 質問順 | 通告議員名    | 質問事項                  | 質問の要旨  | 質問の相手 |
|-----|----------|-----------------------|--|-------|
| 8   | 横手 寿明 議員 | I 中学校部活動における移動の実態について | <p>福島県郡山市の磐越自動車道で新潟市の高校生が部活動の遠征時にマイクロバス事故で亡くなる悲しい事案が発生した。今後、中学校部活動の地域移行を進めるうえで生徒の移動の安全性の確保は大きな課題と考える。そこで、次の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 部活動の移動に関し、現状の把握は十分にできているのか。</li> <li>2 今後、中学校部活動の地域展開を進めるうえで、移動に関しても学校管理と異なり、生徒個人の移動中や地域団体での活動中の事故、トラブルへの対応責任などが複雑化する課題があるが、どのようにしていくのか。</li> <li>3 遠征時などの生徒の移動の安全性を確保しようとする、保護者が支払う遠征費や交通費の家計負担が増加するといった懸念があるが町はどう考えるか。</li> </ol> | 【教育長】 |

令和8年雫石町議会6月定例会 一般質問通告一覧表

【No. 9】

| 質問順 | 通告議員名    | 質問事項                       | 質問の要旨  | 質問の相手     |
|-----|----------|----------------------------|--|-----------|
| 9   | 徳田 幸男 議員 | I 相続登記の義務化について             | <p>令和6年4月から相続登記が義務化され2年が経過した。相続未登記問題は、当町への移住及び定住の促進に繋がる住宅の流通を阻害する要因であり、その解決は喫緊の課題である。また、相続登記の義務化は、相続の開始を知った日から3年以内に登記申請を行う必要があり、違反すると10万円以下の過料が科される恐れがある。そこで、次の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 相続登記の義務化についての重要性をどのように認識しているか。</li> <li>2 相続登記の義務化に関する町民への周知をどのように行っているか。</li> <li>3 相続登記を促す活動をどのように行っているか。</li> </ol>  | 【町長】      |
|     |          | II クマによる児童生徒に対する危害防止対策について | <p>クマによる人身被害が後を絶たず町民の安心安全を脅かす深刻な事態となっている。このような現状を踏まえクマによる児童生徒に対する人身被害が発生しないよう万全を期す必要がある。そこで、次の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 国では、学校や登下校時における児童生徒の安全確保に向けた「学校安全総合支援事業」「学校安全教室推進事業」「地域ぐるみの学校安全体制 整備推進事業」の3事業に支援するとしているが、同支援事業を有効に活用しているか。</li> <li>2 県内の自治体では、クマ出没対応マニュアルを作成して児童生徒の安全対策を講じているところがあるが、当町では作成を検討しているか。</li> <li>3 登下校時において、クマによる危害を防止するためには通学路の安全点検を実施して、林や茂みなど見通しが悪い箇所には緩衝帯を設けるなど環境整備をする必要があるが、各小学校の通学路の安全点検は行っているか。</li> <li>4 通学路における安心安全を確保するためには、地域との連携が不可欠であるが、どのような方法により地域との連携を深め安全対策を講じていくか。</li> </ol> | 【農業委員会会長】 |
|     |          |                            | <ol style="list-style-type: none"> <li>4 相続未登記農地等の実態調査を踏まえ、相続未登記農地の解消に向けた取り組みをどのように進めているか。</li> <li>5 司法書士会と包括連携協定を締結している自治体があるが、当町でも締結してはどうか。</li> <li>6 相続登記費用及び遺言書作成費用に係る補助金制度を創設してはどうか。</li> </ol>   | 【町長】      |